

筑波大学 社会・国際学群 社会学類

令和 7 年度 推薦入学試験 筆記試験問題冊子

(注意事項)

1. 問題冊子 1 部、解答用紙 2 枚が配られているか、確認してください。
2. 解答用紙の所定欄に、受験学群・学類、氏名、受験番号を記入してください。
これらが正しく記入されていない答案は、採点できないことがあります。
3. 解答用紙については、下書き用紙をはずして使用してください（下書き用紙は回収しませんので、自由に使って結構です。）解答は、原則として横書きとします。なお、表題をつけるかつけないかは、解答者の判断に任せます。

【問題】

2023 年 4 月に日本において子ども家庭庁が発足した。以下の資料を読み、問いに答えなさい。

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

出典：

久永隆一、子ども政策、問われる「司令塔」 3 部局 4 0 0 人、こども家庭庁 4 月 1 日発足、
朝日新聞、2023_3_30、朝刊, 3 総合、(問題作成にあたって、一部図を削除した。)

問題 1

資料で言及されている、妊婦・子育て家庭に対する「妊娠期から2歳までの「伴走型相談支援」として、どのようなものが考えられるだろうか。考えられる様々な関係者、組織等に言及しながら、自由に述べなさい。

問題 2

「子どもの生きる権利や意見表明できる権利」を推進していくうえで、政府主導の政策がもたらす意義ないしリスクについて検討しなさい。